

1 おばあちゃん



- ① 谷川俊太郎/文
三輪茂/絵
- ② いそっぷ社
- ③ 1,300円
- ④ E

おばあちゃんがおむつをしたり、ごはんを一人で食べられなかったりする様子を赤ちゃんに例えて説明をすることから始まる作品です。命あるものは皆、老いていきます。「昔は美人だったおばあちゃんだけれど、今では宇宙人なのかもしれない。」というふうにも例えています。自分も必ず通る老いについて、考えさせられる作品です。

2 死ってなんだろう。死はすべての終わりのなの？



- ① フランソワーズ・ダステール/文
アンネ・ハムステッヘ/絵
伏見操/訳
- ② 岩崎書店
- ③ 1,300円
- ④ 114016

「死」は、大昔から誰もが疑問をもっているものであり、逃れることのできないものです。もちろん歴代の哲学者たちも自分の考えを語っています。この哲学者たちの考えに触れることで、自分なりのこれまでの考えだけでなく、新しいイメージももつことのできる作品です。

3 とことん 孫正義物語



- ① 井上篤夫/文
やまなかももこ/絵
- ② フレーベル館
- ③ 1,300円
- ④ 287017

日本を代表する事業家・孫正義さんの子ども時代から青年時代までを、事実に基づいて描いた物語です。高い志をもち、周りの人たちへ心を寄り添わせながら、何事にも「とことん」取り組む主人公・正義くん。彼のひたむきで一生懸命な姿は、読む人に生きる勇気を与えてくれます。

4 ひらけ蘭学のとびら 『解体新書』をつくった杉田玄白と蘭方医たち



- ① 鳴海風/著
関屋敏隆/画
- ② 岩崎書店
- ③ 1,500円
- ④ 284017

幼い頃から、家族の死に直面するたびに医学をもっと発展させ人々を助けたいと願っていた杉田玄白は、前野良沢たちと共にオランダ語の医学書『ターヘルアナトミア』の翻訳に取り組みます。オランダ語を全く知らない段階から『解体新書』を出版するまでの姿に、高い目標をもって努力することのすばらしさを学べる一冊です。

5 ヒロシマのいのち



- ① 指田和/著
- ② 文研出版
- ③ 1,400円
- ④ 314017

世界で唯一、原爆投下があった日本。広島では、人だけでなく、ありとあらゆるものが被爆しました。この作品は、7人の体験談から、実際の様子がひしひしと伝わってきます。原爆投下があった事実を忘れず、平和のバトンを受け継ぐためにも読んでほしい作品です。

6 光をくれた犬たち 盲導犬の一生



- ① 今西乃子/著
浜田一男/写真
- ② 金の星社
- ③ 1,400円
- ④ 364017

盲導犬の一生には、多くの人間が関わっています。盲導犬候補の子犬を育てるパイパーウォーカー、盲導犬になるための指導を行う訓練士、実際のパートナーとなるユーザー、引退犬を引き取り最期をみとるボランティアと、それぞれの立場での犬と人間との絆が優しく伝わってくる一冊です。

7 見えない大気を見る 身近な天気から、未来の気候まで



- ① 日下博幸/著
- ② くもん出版
- ③ 1,400円
- ④ 457016

風、雲、雨などの身近な天気の疑問に、実験を交えながら答える本。気象を予測するためにはコンピュータシミュレーションが活躍していることを詳しく解説しています。地球の未来を守ることに繋がってゆく気象学に興味を抱くきっかけとなる一冊です。

8 世界を救うパンの缶詰



- ① 菅聖子/文
やましたこうへい/絵
- ② ほるぷ出版
- ③ 1,400円
- ④ 587017

ふわふわのパンの缶詰を発明したのは日本人。完成に至るまで失敗の連続でした。今では日本全国の被災地だけでなく、世界中に届けられるようになりました。一パン職人のあきらめない情熱と行動力から、生きていく上で夢やビジョンを持つことがいかに大切か考えさせられます。

9 ひいな



- ① いとうみく/作
- ② 小学館
- ③ 1,400円
- ④ 914017

おばあちゃんの家で預けられた由良は、町の駅舎に飾られていた、自分の身代わりに厄を引き受けてくれるというおひな様の濃姫と心を通わすこととなります。おひな様との不思議な出会いを通して、家族のあたたかさを感じることができる作品です。

10 河童のユウタの冒険（上）（下）



- ① 斎藤惇夫/作
金井田英津子/画
- ② 福音館書店
- ③ 2,500円（上）
2,500円（下）
- ④ 914017/1（上）
914017/2（下）

河童と九尾の狐と天狗の三にんが繰り広げる壮大な冒険物語です。冒険の目的を探しながらお話は進み、物語の中に引き込まれていきます。動物たちと人間の共生がテーマとなっており、物質的な豊かさや便利さに流されがちな現代人に警鐘を鳴らしているともいえる読みごたえのある作品です。

11 花あかりともして



- ① 服部千春/作
紅木春/絵
- ② 出版ワークス
- ③ 1,400円
- ④ 91A017

おばあちゃんの、花に対する思いの裏には、子どもの頃の戦争体験がありました。花を育ててはいけない時代に、花は心の栄養でした。

そのことを知った孫娘は、おばあちゃんの思いを受け止め、つないでいこうと心に決めます。世代を超えて、平和への思いを深めていけるお話です。

12 三島由宇、当選確実！



- ① まはら三桃/著
- ② 講談社
- ③ 1,400円
- ④ 917016

小学校五年生の三島由宇は、クラスの学級委員であり、児童会の副会長もやっている明るく元気な女の子です。久しぶりに会ったおじいちゃんが実は政治家で、ひよんなことからその選挙活動を手伝うことになり……。選挙や政治の仕組みも分かりやすく書かれています。

13 おれたちのトウモロコシ



- ① 矢嶋加代子/作
岡本順/絵
- ② 文研出版
- ③ 1,300円
- ④ 91ヤ017

田舎町に引っ越してきた竜也。そこで真琴、健と友達になり、自分たちの旅行費用をためるためにトウモロコシを作って売ることにします。種まきから始め、カラスから苗を守るため泥団子で攻撃したり、泥棒にトウモロコシをねらわれたり……。自分たちも一緒になってワクワク、ハラハラできる作品です。

14 はっけよい！雷電



- ① 吉橋通夫/著
- ② 講談社
- ③ 1,400円
- ④ 913017

国技館で相撲の観戦中に土俵下へ落ちてきた力士とぶつかって、江戸時代にタイムスリップしてしまった太郎は、当時大活躍していた伝説の力士、雷電為右衛門と出会います。相撲だけでなく、落語や天ぷらなど当時の江戸の様子も一緒に生き生きと描かれていて、歴史好きの人にも楽しめる物語です。

15 スピニー通りの秘密の絵



- ① L. M. フィッツ・エルト/著
千葉茂樹/訳
- ② あすなろ書房
- ③ 1,500円
- ④ 937016

「卵の下を探すんだ」という、亡くなったおじいちゃんが残した言葉の謎に、孫娘セオと偶然出会ったセラブ女子ボーディが挑みます。図書館では図書館情報学修士の力やデータベースの情報などにも頼りながら、徐々に真相へと迫っていきます。その意外な展開に自然とページをめくってしまいます。